

チューク（トラック島） 駆潜艇第29号探索 油漏艦船調査報告書

1. 目的

本探索・調査は、ミクロネシア連邦・チューク州知事のご協力により、昨年7月夏島等周辺海域沈没艦船調査に続き、未発見であった第29号駆潜艇の沈没位置を探索・特定することと、油漏れしている艦船(神国丸)の状態を把握する事を目的に、第1回目（2013年8月30日～9月8日）と第2回目（2013年10月7日～10月13日）の調査を実施した。

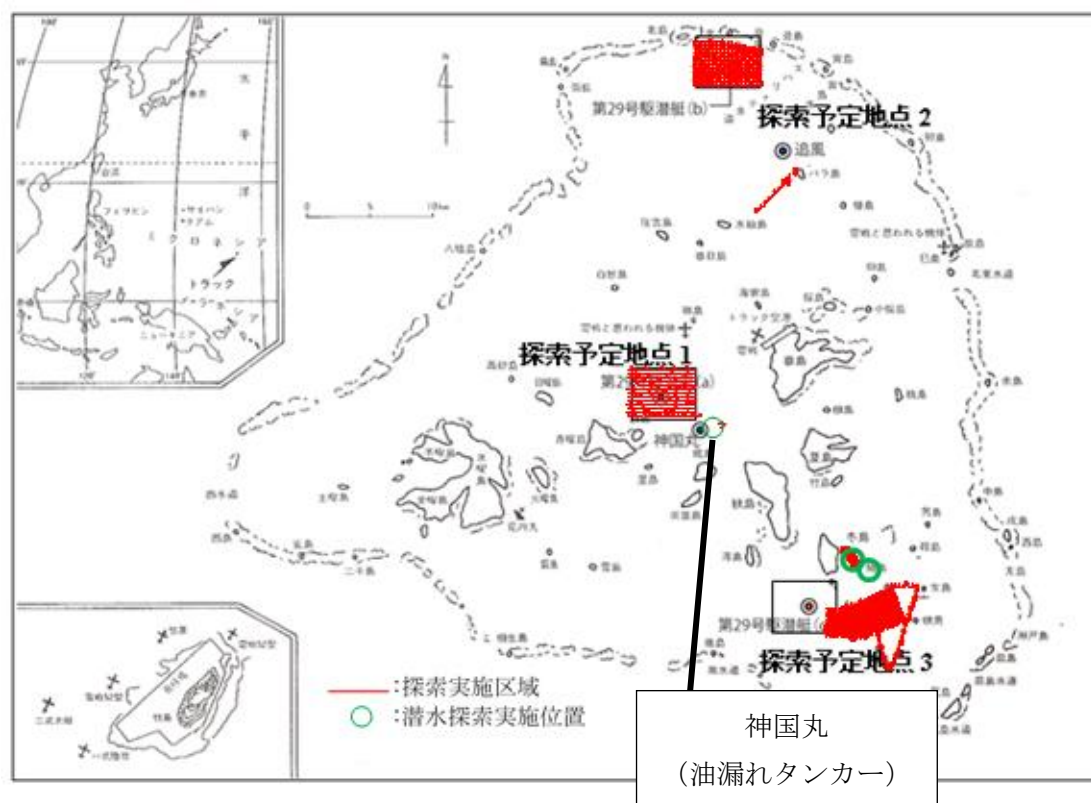


図1:探索及び調査区域図

2. 探索・調査概要

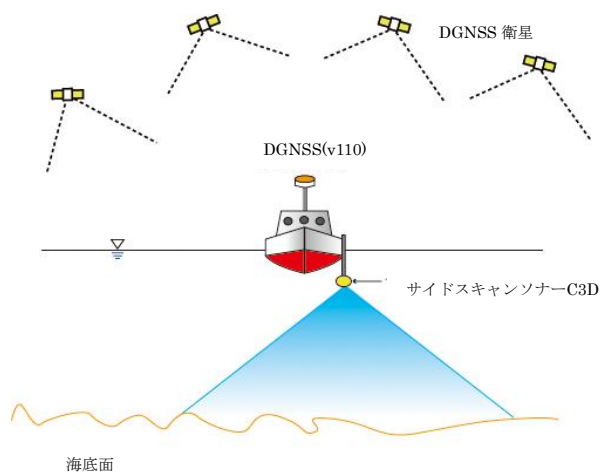
(1) 駆潜艇探索概要

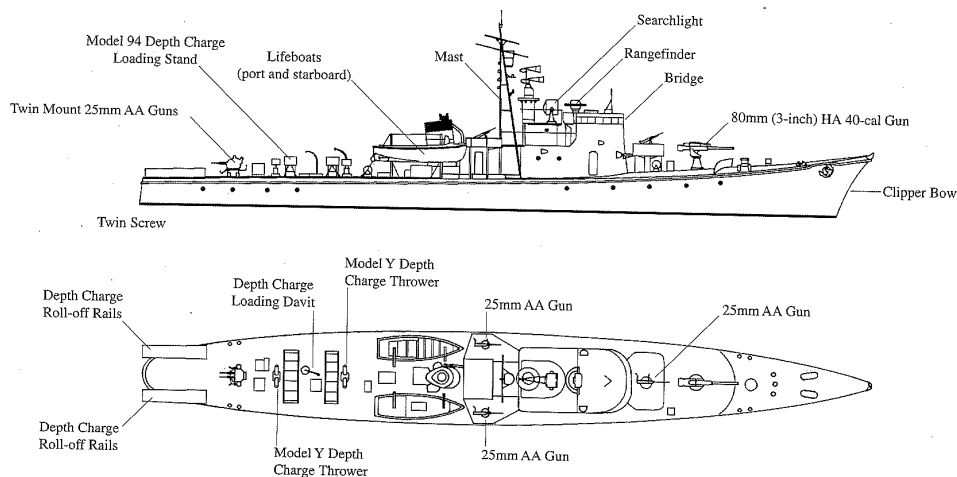
探索機器はインターフェロメトリ方式のスワス音響測深機である 3 次元サイドスキャンソナー（以下 C3D と呼称）を使用した。インターフェロメトリ方式のスワス音響測深機は、反射波の位相差により測深するため、一度に計測できる幅が広く、精密な 3 次元地形データが取得できる。また、反射強度データを同時に取得できるため、海底面の状況を画像として取得することができる。C3D の測深精度は、国際水路機関（IHO）による水路測量基準の”Special Order（特級の水域）“に適合し、海上保安庁告示 102 号スワス音響測深機として認定されている測深精度は、国際水路機関（IHO）による水路測量基準の”Special Order（特級の水域）“に適合し、海上保安庁告示 102 号スワス音響測深機として認定されている。



インターフェロメトリ方式音響測深機 C3D と調査船

3 次元サイドスキャンソナー(C3D)を調査船舷側の固定艙装し探索予定地点 1・2・3 を探索した。探索要領は下図に示す。





探索対象とした駆潜艇（第 29 号）概要（420 トン）



第 29 号駆潜艇と同型の第 32 号駆潜艇

(2) 油漏艦船調査概要

油漏が確認されている神国丸を対象に深田サルベージ建設株式会社の助言を元に弊社社員及び地元潜水士 2 名による潜水調査を行った。

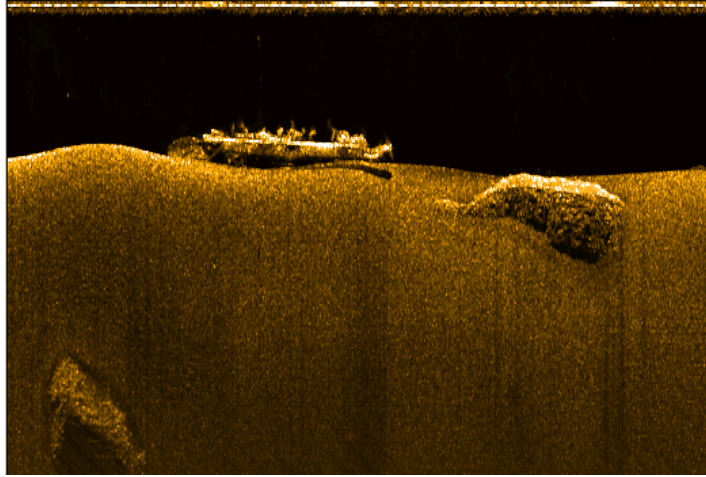
3. 結果

(1) 駆潜艇探索

第 1 回目探索では特異対象点（駆潜艇 29 号か否か）の把握のみで発見に至らず。

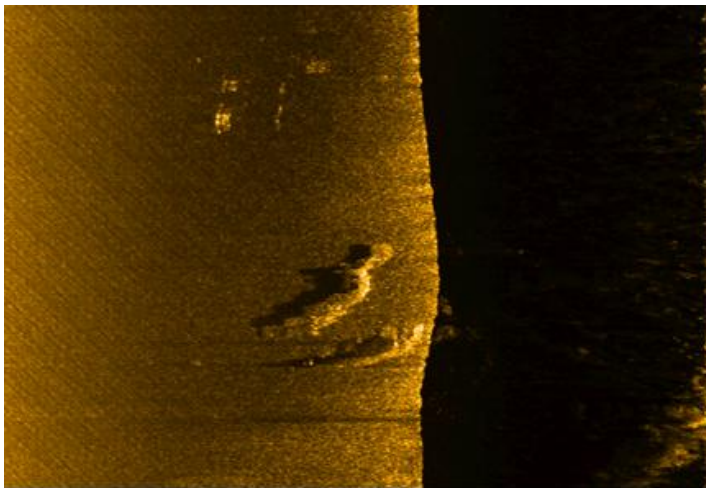
第 2 回目探索で特異対象点 5 点を潜水調査等で確認したがいずれも珊瑚礁で駆潜艇第 29 号は発見出来なかった。

但し、表 1 における区域 1_順位 1 地点では駆逐艦「文月」、区域 3_順位 2 地点では駆逐艦「追風：おいて」、区域 3_順位 3 地点では船上火災した沈没船を 3 次元サイドスキャンソナー(C3D)で捕捉した。以下その画像を示す。



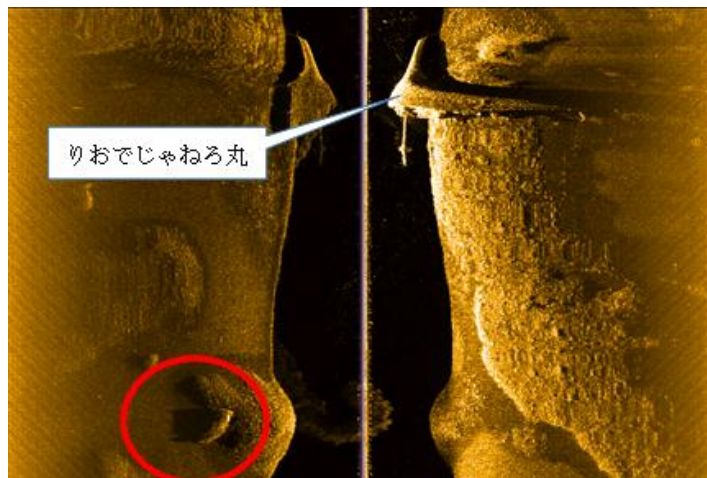
駆逐艦「文月」音響画像

沈没位置 北緯 7° 24' 51.796" 東経 151° 44' 23.273" 水深約 35.83m



駆逐艦「追風」(おいて)音響画像

沈没位置 北緯 7°36'44.584" 東経 151° 49' 59.316" 水深約 59.46m



ポイント RIO_1

沈没位置 北緯 7°18'13.186" 東経 151° 53' 46.489" 水深約 30.9m

(2) 油漏船舶調査

船名：神国丸（シンコク マル）

船種：油槽船

船質：鋼製

総噸数：10,020G/T

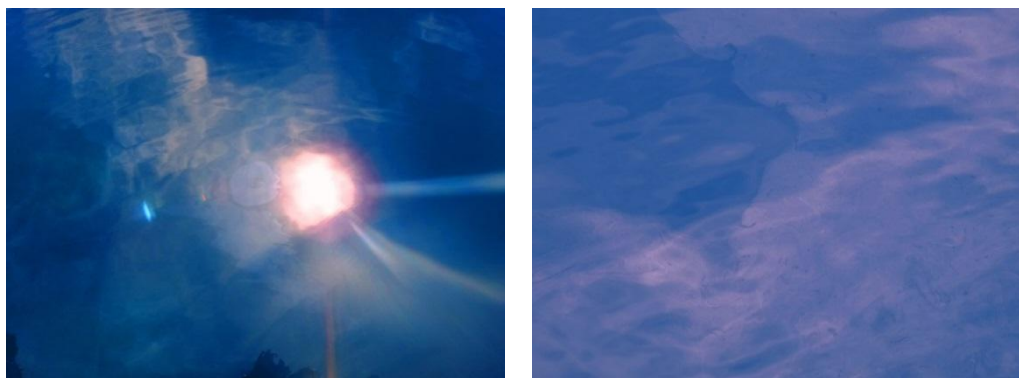
主要寸法：全長 153.39m 幅 19.80m 型深さ 11.32m

水深：船首付近の海底で 35m 船尾付近の海底で 42m

船橋及び船尾機関室付近で 25m

潜水調査結果は以下の通り。

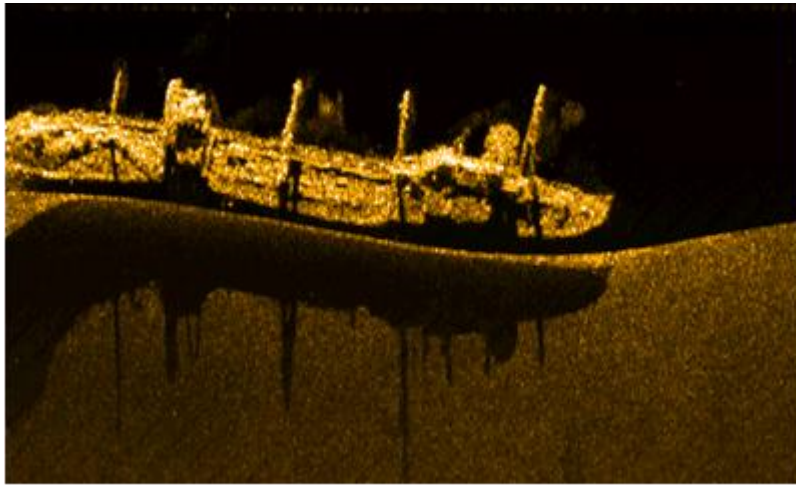
- ① 沈没状況：水深 35 から 42m の海底に略正座した状態で、船体の原型を概ね留めて沈没している。
- ② 船首方位：東北東（約 080 度）
- ③ 傾斜角度：右舷側に約 1 度 船尾側に約 5 度
- ④ 損傷状況：潜水土にて確認した主な損傷部は、船体の左舷船尾部に約 7m の破孔を確認した。但し船体にはサンゴ等海洋生物が全体的に付着しており上甲板には泥の堆積を認め、船体の腐食による損傷がある可能性がある。また、潜水土が確認できない船底部などの損傷は不明。
- ⑤ 流出油の状況：機関室内の天井部に油類を確認した。また機関室の船首側に存在する貨物油タンクの損傷部から油類の流出油を確認した。
- ⑥ 貨物油タンクの開口部の状況：ハッチカバーは開放されているものと閉鎖されているものを確認した。
- ⑦ 潮流の状況：この度の調査時では、作業の支障となる潮流は認められない。
- ⑧ 特記事項：船体の船首及び船尾部に大砲を搭載している事を確認した。



海面上の流出油の状況



潜水調査状況



タンカー「神国丸」音響画像

沈没位置 北緯 7°23'59.735" 東経 151° 46' 45.033"

水深約 35～42m



タンカー「神国丸」潜水調査_甲板上部(正座)